

2012年3月16日

国際連合事務総長
藩基文様

事務総長様

この件にかかわる2つの組織、世界ろう連盟（WFD）と世界手話通訳者協会（WASLI）の代表として、添付の文書、WFD-WASLI 通訳ガイドラインをお届けいたします。これは国連機関で、ろう者や国際手話通訳者と活動をする際のガイドラインとなるよう作成されました。

国際 NGO である WFD は 1950 年代の設立以来、諮問機関として国連との関わりを蜜にしていまいりました。長年にわたり、WFD は WASLI と共に、国連関係でのベストな手話通訳手配の方法を示した、明確でしっかりした手引きと指示の必要性を痛感してきておりました。両機関とも、国連の様々な機関から、手話通訳によってろう者が国連に参加できるためのアクセシビリティをいかに確立していくか、度々手引きや助言を求められてきました。その結果として、WFD と WASLI は国連とその関連機関に対して、国連に合ったガイドラインの提供を目的としたプロジェクトを始めました。

WASLI と WFD を代表してここに添付の文書を送らせて頂きます。この文書は、ろう者が参加する会議を計画する際に役に立つと確信しております。このガイドラインを、国連での標準として利用していただければ幸甚です。また各機関にガイドラインを配布していただき、すべての関係者がこの情報にアクセスできるようにしていただくようお願いいたします。

文書についてのご意見をお待ちしております。また、行事への参加者すべてが効果的にコミュニケーションを図れるようにすること、通訳者には業務についてご高配いただくことに感謝申し上げます。

敬具

デブラ・ラッセル

WASLI 会長

コリン・アレン

WFD 会長

CC : 国連人権高等弁務官 Navi Pillay 様

国連障害者の人権特別報告者 Shualb Chailken 様

経済社会局社会政策開発部 Daniela Bas 様

国連障害者の権利条約事務局長 Akiko Ito 様